



## Kobe Shoin Women's University Repository

Title	棚橋淳二にかかわる論文の正誤表
Author(s)	棚橋 淳二 (TANAHASHI Junji)
Citation	研究紀要 (SHOIN REVIEW)
Issue Date	
Resource Type	Bulletin Paper / 紀要論文
Resource Version	
URL	
Right	
Additional Information	正誤のある号 : No.16、No.17、No.19、No.20、No.21、 No.23、No.24、No.25、No.26、No.27、No.28、No.29、 No.31、No.34、No.35、No.37、No.43、No.45

# 棚橋淳二にかかわる論文の正誤表

誤

正

## 鉛丹ガラスと金属鉛ガラス(一)

第十六号	二頁	一四行目
	一二頁	一五行目
	一三頁	九行目
	一七頁	一行目
	二〇頁	四行目
		一四行目
		一五―一六行目

三日  
『雲林石譜』の  
『天工開物』の  
金属鉛ガラス  
金属鉛ガラス  
このような  
ブランクールの  
書に記されてい  
ることは注意す  
べきことである  
う。

十一日  
『雲林石譜』所載の  
『天工開物』所載の  
金属鉛ガラス(？)  
金属鉛ガラス(？)  
しかし果たしてこのような  
西欧において行われてい  
たとは考え難いことであ  
る。

二三頁	一行目
二五頁	五行目
三〇頁	六―七行目
四一頁	一四行目
四三頁	三行目
四三頁	一四行目
四四頁	五行目
四五頁	一三行目
七三頁	第三十五表
七四頁	四行目

微  
原本となった  
手に入れること  
を察知せよ。

微  
原本とされた  
手に入れるならば  
ない。

〔43-48〕  
刊行された。  
刊行  
刊  
唐物之  
第三十一表・第  
三十二表より  
写本

〔43~48〕  
成立した。  
成立  
成  
唐物也  
第三十三表・第三十四  
表より  
稿本

## 鉛丹ガラスと金属鉛ガラス(二)

第十七号	五頁	一五行目
		一八行目
	九頁	一二行目
	二〇頁	三行目
	二一頁	九行目
	二四頁	五行目
		九行目
	二九頁	二行目

京都府  
教育委員会  
京都府  
京都府  
京都府  
京都府  
京都府  
京都府  
京都府

京都府立  
教育会  
京都府立  
京都府立  
京都府立  
京都府立  
京都府立  
京都府立  
京都府立

## 鉛丹ガラスと金属鉛ガラス(三)

第十九号	四一頁	一行目
------	-----	-----

京都府

京都府立

五四頁	一五行目	清	文化十五丑年
五八頁	一一行目	徐冷時間	徐冷時間
六二頁	一六行目	日本ガラス研究	日本ガラスの研究
六四頁	一六行目	徐冷用	徐冷用
六五頁	三行目	航海術ノ器具	航海術、測量術ノ器具
六八頁	四行目	「重なる原料」、	(削除)
七〇頁	一四行目	刊	成

鉛丹ガラスと金属鉛ガラス(四)

第二十一号	八頁	七行目	京都府	京都府立
	三〇頁	一六行目	△乾燥器	△乾燥器(ママ)
	三二頁	一七一―一八行目	△十角肉地	△十角肉地(ママ・以下同じ)
	三三頁	二行目	図2の解説、	写真2の解説
	四〇頁	一二行目	『ローマ人の色と術』	『ローマ人の顔料と技術』
	四一頁	四行目	『ローマ人の色と術』	『ローマ人の顔料と技術』
	四八頁	九行目	Longman	Longmans
	五五頁	一七行目	(図録)	図録
	六五頁	一八行目	『退閑雑記』	『退閑雑記』
	八六頁	一五行目	金属鉛ガラス	金属鉛ガラス(?)
	八六頁	一八行目	金属鉛ガラス	金属鉛ガラス(?)

江戸時代におけるガラス技術の変遷と伝播

第二十五号 七四／七五頁 第

四図(佐賀・万延元年) 『窯業史』

『窯業史』 4

江戸時代のガラス器の比重(一)

第二十六号	四八頁	一五―一六欄	三組猪口	三組口切り猪口
	四九頁	二欄	三組猪口	三組口切り猪口
	五七頁	一〇欄	舶載ガラス	(削除)
	五八頁	一六欄		万延元年

他の訂正については第二十七号七頁参照

(参考) 収録資料はNo.1955~No.1965

江戸時代のガラス器の比重(二)

第二十七号	一〇頁	二欄	筍堀	筍堀
	一九頁	五欄	杯	口切り杯
	二四頁	八欄	Arques	Durand, crystal d'arques
	図版一頁		No.1966.14(—B)	No.1966.14A(—B)

他の訂正については第二十八号三二二頁参照

(参考) 収録資料はNo.1966~No.1975

江戸時代のガラス器の比重(三)

第二十八号	二四頁	一五欄	土屋良雄氏測定
	二五頁	一一表一一欄	羊齒
	四〇頁	一五欄	英雄
	四一頁	一四欄	劍菊文
		一五欄	霰文
	四四頁	八欄	齒羊
	四八頁	六欄	齒羊
			羊齒

(参考) 収録資料はNo.1976~No.1986

江戸時代の技法によるガラス素地の製造

第三十一号	五四／五五頁、	図30の上段5/5の15/30の説明	馬目下	馬目上
			埴塙	埴塙下

江戸時代後期より明治時代前期にいたる切子の技法

第二十九号	四三頁	一〇欄	No.1975.53	No.1975.54
	六九頁	八欄	No.1975.53	No.1975.54
	図版一三頁		No.1975.53	No.1975.54

ギヤマン考

第二十号	五〇頁	四行目	宝暦十三年(一七六三)	宝暦十二年(一七六二)
	七七頁	二行目	江戸時以	江戸時代
	一〇三頁	二行目	『嗚乎矣草』	『嗚乎矣草』
	一一六頁	第一七図	浜松市立美術館蔵	浜松市美術館蔵
	一二〇頁	第二二図	左(A)27.9cm, 右(B)27.6cm	左(A)17.9cm, 右(B)17.6cm
	一二三頁	第二四図	「瑠璃色」	「瑠璃」
	一三二頁	一一行目	『嗚乎矣草』	『嗚乎矣草』

ガラス問屋加賀屋久兵衛

第二十三号 二九頁 九行目

排出

輩出

三四頁 三行目

主尾

首尾

四五頁 二行目

引札の内、再版以降のものに

引札に

七九頁 五行目

の事績

および後継者たちの事績

江戸明治前期の舶載ガラス器

第四十五号 三七頁 一五欄

万延元年

見帖にみられるガラス器の入札価格

第四十三号 一八頁 二行目

一八文

一六文

明治時代前期の金紅ガラス

第二十四号 六〇頁 六行目

覆し

覆ヒ

六四頁 一五行目

開かれて

開かれて

九一頁 三図

齒羊

羊齒

九二頁 四行目

齒羊

羊齒

九三頁 三行目

齒羊

羊齒

三好鹿蔵製造のプレスガラス(三)

第三十四号 一〇八頁 三四欄

杉稜

杉綾

三好鹿蔵製造のプレスガラス(四)

第三十五号 二二頁 一〇行目

150.9

250.9

三好鹿蔵製造のプレスガラス(五)

第三十七号 五頁 四欄

N.T

T.N

二四頁 六行目

鹿造

鹿蔵

「三好鹿蔵製造のプレスガラス」他の訂正については第三十七号三〇頁、第四十一号三九頁を参照、また三十四号以降の別表中の原因を示唆する「虹彩」「油膜」「油污れ」の語を、現象のみを示す「干渉色」に改める